



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
（奈良県保健環境研究センター内）
Nara IDSC



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（7月月報） **NEW**
- 病原体（ウイルス）検出情報（7月） **NEW**



（調査週） 平成 23 年 第 32 週 8 月 8 日（月）～ 8 月 14 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	手足口病	3.46	↓	↓	→～↓	↓
2	感染性胃腸炎	1.94	→	→～↓	→～↑	↑
3	咽頭結膜熱	0.46	→～↓	↓	→	↓
4	ヘルパンギーナ	0.40	↓	↓	↓	→～↓
5	水痘	0.37	↓	↓	↓	→

全県の動きと目立って異なる推移（定点当たりの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

奈良市、郡山、桜井、葛城、内吉野保健所管内で手足口病の警報レベルが継続しています。

県北部地区概況 報告数は 111 例で、前週報告の 188 例から減少。上位 5 疾患は、①手足口病、②感染性胃腸炎、③ヘルパンギーナ、④伝染性紅斑＝水痘の順。手足口病の報告数（62 例）は、激減。感染性胃腸炎の報告数（19 例）は、減少。ヘルパンギーナの報告数（6 例）は、やや減少。伝染性紅斑の報告数（5 例）も、やや減少。水痘の報告数（5 例）も、やや減少。奈良市 HC および郡山 HC 両管内基幹定点と眼科定点からの報告はなかった。（村井 記）

県北部外来状況：夏休みも半分が過ぎ、感染症は減少しています。大流行していた手足口病は保育園で流行がみられますが数は減っています。今シーズン 2 回感染した方もあります。1 回目は高熱後に発疹が出ていますので、コクサッキー A6 型だと思われそうですが、2 回目は微熱と共に発疹が出現しており、今まで流行があった型かと思います。ここ 2 週続けて RS ウイルス感染症が幼児でありました。熱が続き気管支炎様の聴診所見の場合は検査が必要かと思います。（矢追 記）

県中部地区概況 報告数は31週の177例から、32週は141例と減少した。上位の5疾患（31週→32週）は、①手足口病（72例→53例）、②感染性胃腸炎（31例→43例）、③咽頭結膜熱（14例→14例）、④伝染性紅斑（10例→7例）、⑤水痘（16例→6例）の順であった。手足口病は7週連続1位であるが、29週の121例をピークとして、その後、減少傾向にある。眼科定点からは、流行性角結膜炎3例の報告が葛城HCよりあった。インフルエンザの報告はなかった。基幹定点からの報告もなかった。（徳田 記）

県中部外来状況：夏休み、お盆等で外来数は多くない。15日は他医院休診が多いためと、帰省の患者さん等で多かった。発熱の夏風邪、従来型の手足口病、A群溶連菌感染症、水痘があった。年長児で感染性胃腸炎がやや増加、水様便、嘔吐、腹痛を伴い、細菌検査中。（岡本 記）

県南部地区概況 報告数（第31週→第32週）は、33例→23例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（4例→6例）、①手足口病（17例→6例）、③A群溶連菌咽頭炎（0例→4例）、④ヘルパンギーナ（3例→3例）、⑤RSウイルス感染症（0例→2例）、⑤水痘（2例→2例）であった。（柳生 記）

県南部外来状況：外来数は少ない。手足口病は第32週で再び減少傾向となった。症状は軽いものが多かったが、四肢、臀部、口囲に大きな発疹を多数認めた例は、その後周囲に落屑を伴った著明な色素沈着となっている。今週第33週最初の例は、口腔は僅かであるが、手掌、足底の発疹が著明であった。ヘルパンギーナが少し。感染性胃腸炎は少ない。A群溶連菌咽頭炎僅か。第30週の中学生の母親の百日咳が1例あった。（山本 記）

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（7月月報）】

平成 23 年 7 月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・STD 患者数（人）

疾患名/報告月	7月		前月（6月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	10	1.11	7	0.78
性器ヘルペスウイルス感染症	3	0.33	2	0.22
尖圭コンジローマ	2	0.22	5	0.56
淋菌感染症	6	0.67	3	0.33

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名/報告月	7月		前月（6月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	34	5.67	33	5.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	11	1.83	10	1.67
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.17	1	0.17
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）

【病原体（ウイルス）検出情報（平成 23 年 7 月）】

病原体定点医療機関から保健環境研究センターウイルスチームに搬入された検体の、7 月におけるウイルス検出状況は以下の通りです。

患者数（平成 23 年 7 月検出分）

検出病原体		北和	中和	南和	その他	臨床診断名
コクサッキー	B4				1	無菌性髄膜炎(1)
ノロ	GII			1		感染性胃腸炎(1)
アデノ	2		4			喘息様気管支炎(1)、扁桃炎(2)、クループ(1)

（保健環境研究センター 記）